

# 田園風景をひとつの作品に

## 米沢市 田んぼアート

令和4年は没後200年の節目として上杉鷹山公を描いた

### 小野川温泉を彩る田んぼアート

米沢市の田んぼアートは、平成18年から山形おきたま農業協同組合米沢地区青年部や地域住民の協力のもと行われてきた。小野川温泉で温泉旅館を営む田んぼアート協議会会長の佐藤雄二さとうゆうじさんは、「子供たちへの食育、学びの場をつくり、食への大切さを教えたい」、「県外から来る方に小野川温泉といえば、というものを示したい」と思いを語る。

どこにでもある田園風景をひとつのアートにしようと米沢市としても農業・観光・教育の3部門が連携して進めてきた事業は今年で18年目を迎える。

### 体験イベントで広がる交流

田んぼアートの取組み開始時から、5月の田植え体験と9月の稲刈り体験の2つのイベントを開催している。イベントには地域の小学校の児童が学校行事として参加するほか、地域外、県外からの参加者もあり、コロナウイルス拡大前の体験の時には参加者に豚汁や芋煮をふるまい、交流の場を作っていた。「地域の方々にも体験していただき、喜んでもらえたので、地域にとって必要な活動だと感じられた。」と佐藤さんは語る。

昨年まで体験イベントに参加していた地域の小学校が3月で閉校することになり、今年も米沢市内の小・中学校に学校行事としての参加を呼びかけて体験イベントの輪を広げていきたいと考えている。

佐藤さんは、「5月末から9月末までの長期間、楽しめるのが田んぼアートのいいところ。アートだけでなく収穫後のお米も美味しく食べられるのも田んぼアートの良さ。」と教えてくれた。

# イチオシは“傾奇者” かぶきもの

これまで作成した作品の中で佐藤さんが1番気に入っているのは平成27年の「前田慶次」だそう。この年の体験イベントには、田植えに約400人、稲刈りに約300人が参加した。

米沢市は、前田慶次が晩年を過ごしたゆかりの地であり、これまで3回、前田慶次の田んぼアートを作成してきた。

平成27年は、前田慶次を題材としたテレビドラマの放映があり、それに合わせて作成した。

本作品は色の使い分けが多く、絵の枠取りに数日を要したが、迫力のある作品となった。

ここまでの作品を作るには、枠取りにポイントを2000点以上打つ必要があり、作業に苦労したが、それも田んぼアートの楽しみのひとつ、とのことだった。



絵の枠取りのための測量の様子



平成27年に描かれた前田慶次

## 誰でも参加できる『田んぼアート米作り体験』

5月の田植え体験と9月の稲刈り体験は、地域外、県外問わず誰でも参加できる。

イベントでは、参加者に収穫した米や小野川温泉の入浴券をプレゼントしている。令和5年度も5月28日（日）に田植え体験、9月下旬頃に稲刈り体験の開催を予定しており、詳しくは下記QRコードより米沢市田んぼアートのHPから体験イベントの詳細や申し込み方法などを確認できる。



5月の田植え体験イベント



9月の稲刈り体験イベント

【問合せ先】米沢市農政課

0238-22-5111（内線4301）

米沢市の田んぼアートHP QRコードはこちら→  
田んぼアートの“今”が見られるライブカメラも！

